

トランザクションメッセージ管理ガイド



Contents

Chapter 1. About Deliver and transactional message.....3

使用Deliverトランザクションメッセージを送信します.....	3
トランザクションメッセージの動作Deliver.....	4
トランザクション・メッセージングと標準メッセージングの比較.....	6
トランザクションメッセージのメッセージ設計.....	7
トランザクションメッセージの受信者情報.....	7
メッセージのグローバル抑制とトランザクション・メッセージ.....	9
トランザクションメールの添付ファイル.....	9
デジタル・マーケティング担当者がトランザクション・メッセージに対して何を行っているか.....	9
トランザクション・メッセージのメッセージングの有効化について.....	11
トランザクション E メールに関連するエラーへの対応について.....	12
アプリケーション開発者が行うトランザクションメッセージ.....	12

Chapter 2. Integrating with the Deliver transactional message service..... 14

Identifying transaction events.....	14
Connecting to recipient data.....	14
Connecting to the Deliver TMS.....	15
About Deliver TMS addresses.....	15
The WSDL for Deliver transactional email.....	15
About providing authentication credentials for transactional email.....	16
About providing attachments in transactional email requests.....	17
Constructing the transactional email request.....	17
mailingCode	18
audienceID	18
Fields	19
Cell codes	19
additionalOptions.....	20
attachments	20
Tracking fields	20
locale.....	21
userName.....	21
password.....	22

Chapter 3. Delivery Transactional Mailing Service API.....23

NameValuePair.....	23
応答.....	23
AdvisoryMessage.....	24
トランザクション Eメールのエラーメッセージ.....	25

Chapter 4. サンプルクライアント.....30

Chapter 5. 動的トランザクションイメージについて..... 31

トランザクションメールメッセージでの動的トランザクションイメージの使用.....	31
動的トランザクションイメージのイメージラベルの定義.....	31
トランザクションメール要求で動的トランザクションイメージを指定する方法.....	33

Chapter 1. 配信およびトランザクションメッセージについて

トランザクションメッセージは、ビジネスシステムで検出された特定の事前定義されたトランザクションに応答して送信される単一のメッセージです。Unicaを提供しますDeliverトランザクションメッセージを処理するためのホストされたWebサービスとしてのトランザクションメッセージングサービス (TMS) 。デジタルマーケターは、アプリケーション開発者と協力して、企業のトランザクション管理システムをDeliverTMS。



Note: Deliverは、電子メールとともに次のチャンネルをサポートします。このガイドでは、メッセージという用語はすべてのチャンネルに適用されます。

- SMS
- WhatsApp

トランザクションメッセージを送信すると、パーソナライズされたメッセージを使用して、特定の顧客または顧客関連のアクティビティに自動的に応答できます。トランザクションメッセージは、他のタイプのマーケティングメッセージよりも開封率が高くなる傾向があります。メッセージの受信者は、一方的なメッセージを開くよりも、認識または期待するトランザクションに関連するメッセージを開く可能性が高くなります。

ビジネスシステムで検出できる任意のイベントを使用して、トランザクションメッセージを促すことができます。たとえば、個人が月刊ニュースレターを購読したり、デジタルマーケティングキャンペーンに応じて情報を要求したりするときに、トランザクションメッセージを送信できます。

次のトピックでは、Deliver TMSと、トランザクションメッセージを使用するときにデジタルマーケターとアプリケーション開発者が果たす役割。

- [使用Deliverトランザクションメッセージを送信します on page 3](#)
- [デジタル・マーケティング担当者がトランザクション・メッセージに対して何を行っているか on page 9](#)
- [アプリケーション開発者が行うトランザクションメッセージ on page 12](#)

使用Deliverトランザクションメッセージを送信します

トランザクションメッセージを実装するには、デジタルマーケターとアプリケーション開発者のコラボレーションが必要です。すべての関係者は、必要なシステムとワークフローを一般的に理解する必要があります。関係するすべてのユーザーは、トランザクションメッセージの実装における各投稿者が果たすさまざまな役割に通じている必要があります。

使用Deliverトランザクションメッセージを送信するには、次のアクティビティとシステムが含まれます。

自動メッセージ応答を必要とするトランザクションの識別

デジタルマーケティングチームは、自動メッセージ応答が必要なトランザクションのタイプを決定します。

トランザクションメッセージは、標準メッセージで参照されるメッセージコンテンツと受信者情報に基づくDeliverメッセージを送信します。トランザクションメッセージですべてのスタンダードメッセージを有効にできます。詳しくは、[トランザクション・メッセージのメッセージングの有効化について on page 11](#)を参照してください。

Deliver トランザクションメッセージサービス

Unicaをホストします。Deliver トランザクションメッセージ要求を自動的に処理する Web サービスとしてのトランザクションメッセージサービス (TMS)。

トランザクションをモニターし、トランザクションメッセージを要求するシステムを開発する

アプリケーション開発者は、組織のビジネスシステムからトランザクション通知を受信し、SOAP を使用して Web サービス要求をシステムに送信するクライアントアプリケーションを作成する必要があります。Deliver TMS. トランザクションメールの送信: Deliverには添付ファイルを含めることができます。要求では、個人化データと添付コンテンツを提供する必要があります。

トランザクションメッセージの動作Deliver

デジタルマーケターが使用CampaignandDeliverメッセージを設定して、トランザクションメッセージのメッセージを有効にします。アプリケーション開発者は、トランザクションメッセージクライアントを作成し、他のビジネスシステムと統合します。

次の表では、ローカルにインストールされるHCL UnicaシステムとHCL Unicaホストされるサービスが連携して、トランザクションメッセージを送信します。

エレメント	関連アクティビティ
<p>Unica Campaign</p> <p>A Campaignは、メッセージの作成、メッセージの設定、トランザクションメッセージのメッセージの有効化を行うためのインターフェースを提供します。</p>	<p>1 デジタルマーケティングチームは、トランザクションメッセージのメッセージ (B) を有効にします。トランザクションメッセージに対しては、すべてのスタンダードメッセージを有効にできます。</p>
<p>Deliverメッセージング</p> <p>B メッセージ設定は、受信者データのプレースホルダとして機能する個人設定フィールドなどのメッセージコンテンツを提供するメッセージ文書を参照します。</p>	<p>メッセージ設定には、Deliverがメッセージの識別に使用します。トランザクションメッセージ要求の場合、メーリングコードが必要です。</p> <p>デジタルマーケティング担当者は、ローカルトランザクションメッセージクライアント (E) を作成するアプリケーション開発者にメーリングコードを通信する必要があります。</p>
<p>会社のビジネスシステムとデータベース</p> <p>C さまざまなビジネスシステムとデータベースから、トランザクションメッセージに必要な個人化データと添付情報を提供できます。</p>	<p>2 業務システムでトランザクションが発生します (C)。トランザクションはトランザクションイベントと考えられています</p>
<p>D トランザクション監視システム</p>	<p>デジタルマーケターとアプリケーション開発者は、トランザクションイベントにตอบสนองするために必要な個人化データと添付ファイルを特定するために事前に相談します。</p>

エレメント	関連アクティビティ
<p>組織のトランザクションアプリケーションは、ビジネスシステムを監視して、トランザクションメッセージを起動するトランザクションのタイプを検出します。トランザクションメッセージのトリガーとして、ほとんどすべてのビジネスアクティビティを使用できます。</p> <p>システム管理者は、指定されたトランザクションを検出してメッセージのカスタマイズ情報を提供するようにモニターシステムを設定します。</p>	<p>トランザクション監視システム (D) は以下を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> トランザクションイベントを検出 イベントタイプがメッセージ応答を必要とするように指定されたことを認識します。 トランザクションのメールクライアントに必要な個人設定データと添付ファイルのコンテンツを提供します (E)
<p>ローカル・トランザクションメッセージクライアント</p> <p>Web サービス要求をDeliverトランザクションメッセージサービス (TMS)。Unicaは、クライアントの作成の開発ガイドとして使用する WSDL を提供します。</p> <p>クライアントはローカルネットワーク内に存在します。次の一部ではありません:Deliver TMS.</p>	<p>3 TMS</p> <p>クライアントは以下のアクセス証明書を提供しますHCL Unicaホストへの HTTPS での SOAP 要求でのホストされたサービスDeliverTMS (F).</p> <p>要求ではDeliverメーリングコードを使用し、このメールに含まれるすべてのカスタマイズフィールドの値を指定します。要求には、必要に応じて添付ファイルも含まれます。</p>
<p>Deliverトランザクションメッセージサービス (TMS)</p> <p>次の場所にある Web サービス。HCL Unicaホストされているサービス。このサービスは、ローカルのトランザクションメッセージクライアントからトランザクションメール要求を受信して処理します。</p>	<p>4 [Deliver TMS が Web サービス要求をレビューします。</p> <p>要求が必要な情報をすべて提供する場合、Deliver TMS は要求を添付ファイルを含めて次の場所に転送します。Deliver送信のためのメーリング基盤 (G)。</p> <p>TMS で問題が発生した場合、問題の説明を示すエラーメッセージをローカルクライアントアプリケーションに返します。</p>
<p>Deliverメーリング基盤</p> <p>DeliverコンポーネントとサーバーUnicaSMTP を使用してトランザクションメッセージメッセージを収集し、送信するデータセンター。</p>	<p>5 Deliverメッセージ要求で識別された受信者宛ての単一の個人化メッセージを送信し、追跡します。</p> <p>ローカルCampaign連絡先と返答データを取得し、Deliverシステムテーブル。</p>

トランザクション・メッセージングと標準メッセージングの比較

Deliver は、標準のパーソナライズされたメッセージとは異なる方法でトランザクション・メッセージを構築し、送信します。標準メッセージングの実行中、システムは個別にパーソナライズされた大量のメッセージを処理する可能性があります。しかし、トランザクション・メッセージでは、Deliver は複数の Web サービス要求に対して同じパーソナライズ処理を実行しますが、各要求は一度に 1 つのメッセージのみを処理します。

トランザクション・メッセージでは、Deliver の標準的なメッセージング機能を有効化できます。トランザクション・メッセージ用のメッセージングを有効化しても、標準メッセージングで使用できるほとんどのメッセージング機能はそのまま使用できます。パーソナライズ・フィールド、テキスト、イメージ、HTML スニペット、ハイパーリンクなど、標準メッセージで利用可能なコンテンツ要素は、トランザクション E メール・メッセージでも利用可能です。ただし、標準メッセージとトランザクション・メッセージで利用可能なメッセージング機能には、いくつかの違いがあります。

以下の表は、標準メール・メッセージとトランザクション E メール・メッセージで利用可能な主な機能を比較したものです。

特性	標準メッセージング	トランザクション・メッセージング
HTML、HTML とテキスト、およびテキストのみのバージョンを送信します。	X	X
出力リスト・テーブル (OLT): パーソナライズ・データを指定します。	X	使用されません。
	OLT には、Eメールの パーソナライズに使用 されるすべての受信者 データが含まれます。	テストに役立ちます。
OLT パーソナライズ・フィールド	X	X
組み込みのパーソナライズフィールド	X	X
定数パーソナライズ・フィールド (定数)	X	X
条件付きコンテンツ	X	X
Eメールの高度なスクリプト作成	X	X
メッセージのプレビュー	X	X
		プレビューは添付ファイルには使用できません。
メッセージング結果は、標準的な Deliver のパフォーマンス・レポートに表示されます。	X	X

特性	標準メッセージング	トランザクション・メッセージング
Eメール・メッセージのリンクを追跡する	X	X
コンタクト属性としてのオーディエンス ID の追跡	X	X
パーソナライズ・フィールドを使用して連絡先を追跡する	X	X
リンク追跡用の追加の URL パラメーター	X	X
グローバル E メール抑制	X	
メールの添付ファイル		X

トランザクションメッセージのメッセージ設計

トランザクションメッセージに対して有効にするすべてのメッセージは、Deliver文書にしてください。すべてDeliverスタンダードメッセージ用に作成された文書は、トランザクションメッセージとして送信することもできます。[Deliver文書は、テキスト、画像（メールと WhatsApp メッセージの場合）、リンク、条件付きコンテンツなどのメッセージのコンテンツを定義します。メッセージ文書には、受信者固有のデータのプレースホルダとして機能する個人設定フィールドも含まれています。これには、メールアドレス、SMS 用の電話番号、WhatsApp などがあります。

ローカルのトランザクションメッセージクライアントは、トランザクションメッセージ要求の一部として、メッセージを識別する固有のメーリングコードを提供します。Deliverはこのコードを使用して、トランザクションメッセージの作成に使用する必要があるメッセージ文書を決定します。トランザクションメッセージ要求では、Deliverメッセージが参照する文書。必要な個人設定値の一部が要求に含まれていない場合は、Deliverはトランザクションメッセージを処理せず、エラーが返されます。

デジタルマーケティング担当者とアプリケーション開発者は、それぞれのメッセージ設計を事前にレビューし、必要な情報がすべてメッセージ要求によって提供されるようにする必要があります。たとえばメッセージの個人化情報を変更するために文書の設計を変更した場合、トランザクションメッセージ要求の設計を更新して変更を反映する必要があります。

トランザクションメッセージの送信者の識別について

トランザクション E メールで使用されるメッセージ文書には、受信者に表示される送信者アドレスを含める必要があります。「個人設定」フィールドを使用して「送信者アドレス」を指定する場合、アドレスのメールアドレスは、UnicaあなたのためにDeliver削除することができます。

トランザクションメッセージの受信者情報

トランザクションメッセージをカスタマイズするには、トランザクションメッセージサービス (TMS) に送信する Web サービス要求で受信者情報を提供する必要があります。カスタマイズされたマーケティングメッセージの他の形式とは異なり、HCL Unica以降、トランザクションメッセージは出力リストテーブル (OLT) から受信者情報を取得しません。

デジタルマーケティング担当者とアプリケーション設計者は、ローカルのトランザクションメッセージクライアントが、トランザクションメッセージで使用されるすべての個人設定フィールドに値を入力する値を提供できることを確認する必要があります。それぞれの Web サービス要求は、アドレスと、メッセージ受信者に固有の個人情報を提供します。

既存のスタンダードメッセージを有効にして、トランザクションメールとしてメールを送信できます。ただし、標準メッセージを使用してトランザクションメッセージを送信するのに OLT を参照する必要はありません。トランザクションメッセージに必要な受信者情報が、Web サービス要求に含まれています。

トランザクション・メッセージで使用されるパーソナライズ・フィールド

ローカルのトランザクション・メッセージ・クライアントは、各パーソナライズ・フィールドを、ホストされているトランザクション・メッセージング・サービスに送信する Web サービス要求内の個別の名前と値のペアとして識別します。クライアント・アプリケーションは、メッセージに含まれる各パーソナライズ・フィールドの名前を指定する必要があります。クライアントは、必要なパーソナライズ値を提供するビジネス・システムとデータベースにもアクセスする必要があります。

トランザクション・メッセージに対して有効にするメッセージングは、対応する文書を参照する必要があります。この文書には、トランザクション・メッセージの構造と内容が記載されています。この文書には、メッセージに含まれるパーソナライズ・フィールドの名前も含まれています。パーソナライズ・フィールドは、メッセージング・サービスがメッセージを構築して送信するときに受信者に関する特定の情報を受け入れるプレースホルダとして文書に追加されます。

「メーリングの概要」タブには、メッセージングで参照される文書に含まれるパーソナライズ・フィールドを識別するための、「このメール配信の完全なフィールド・リスト」というラベルが付いたフィールドがあります。Web サービス要求には、リストの各フィールドの情報が含まれている必要があります。Web サービス要求のパーソナライズ・フィールドの名前は、文書に表示される名前と完全に一致する必要があります。

また、Web サービス要求は、メッセージに含まれる各パーソナライズ・フィールドの値など、メッセージを完了するために必要なデータも提供する必要があります。デジタル・マーケティング・チームは、アプリケーション開発者と相談して、トランザクション・メッセージ・クライアントが提供する必要があるすべての情報を識別し、特定する必要があります。

トランザクション・メッセージング・サービスは、各 Web サービス要求を評価して、要求がトランザクション・メッセージに必要なすべての名前と値のペアを提供しているかどうかを判断します。パーソナライズ・フィールド名、値、またはデータ型がメッセージの要件と一致しない場合、要求は失敗します。

トランザクション・メッセージ内の追加のリンクまたはコンタクト追跡用のパーソナライズ・フィールド

Unica に追加のリンクまたはコンタクトの追跡を実行するように要求する場合、追加の追跡に使用されるパーソナライズ・フィールドの名前と値をすべてのトランザクション・メッセージ要求に含める必要があります。

トランザクション・メッセージの Web サービス要求には、追跡パーソナライズ・フィールドの名前と値を指定するパラメーターが含まれている必要があります。デジタル・マーケティング・チームは、アプリケーション開発者に次の情報を提供する必要があります。

- 追跡パーソナライズ・フィールドの名前
- 予想されるパーソナライズ・フィールドの値とデータ型
- 形式または長さの制限

Deliver では、追加の追跡用に指定したフィールドの一意性は検証されません。トランザクション・メッセージの追加の追跡データと標準メッセージ用に収集されたデータを区別するには、内部手順または命名規則を確立して、パーソナライズ・

フィールドが一意になるようにします。標準メッセージングとトランザクション・メッセージでは、リンクまたはコンタクトの追跡用に同じパーソナライズ・フィールド名を指定しないでください。

メッセージのグローバル抑制とトランザクション・メッセージ

Unica Deliver では、トランザクション・メッセージ要求に E メールのグローバル抑制は適用されません。

CAN-SPAM などの迷惑メール配信に関する規則に違反しないようにするには、E メールを受信してはならない E メール・アドレスをトランザクション・システムに認識させる必要があります。誤ったアドレスや購読解除されたアドレスにトランザクション E メールが送信されないようにすることで、受信者がトランザクション E メールを迷惑メールとしてマークすることによって発生する配信到達性の問題を回避することもできます。

トランザクションメールの添付ファイル

[Deliver TMS は、トランザクションメールメッセージへのファイルの添付をサポートします。

トランザクションメールにファイルを添付することで、メール受信者に追加の個人情報を提供できます。たとえば、コンサートのチケット購入の確認のためにトランザクションメールを送信したり、添付ファイルを使用して印刷用のチケットとシートマップを提供したりできます。標準メールに添付ファイルを指定することはできません。

メーリングのトランザクションメールを有効にする場合、メールで送信する添付ファイルの数を指定する必要があります。Deliver 個々の添付ファイルのサイズとすべての添付ファイルの合計サイズに制限を設定します。

次に送信されるトランザクション E メール要求は、Deliver TMS には、文書コンテンツと添付された各文書に関する情報が含まれている必要があります。E メールマーケティングチームはアプリケーション開発者と共同して、各添付ファイルに関する以下の情報を提供する必要があります。

- 添付ファイルのファイル名
- ファイルの MIME コンテンツタイプ
- ファイルのコンテンツ

添付ファイルを含めるために使用する方法は、アプリケーション開発者が使用するプログラミング言語と開発ツールによって異なります。添付コンテンツを提供する方法の詳細については、[を参照してください。トランザクションメール要求の添付ファイル on page 17.](#)

添付ファイルのウィルススキャン

[Deliver Transactional Mailing Service は添付ファイルのコンピューターウィルスやその他のタイプの不正プログラムをスキャンしません。

トランザクションメールに添付するすべてのファイルに、悪質なコードが含まれていないことを確認する必要があります。

デジタル・マーケティング担当者がトランザクション・メッセージに対して何を行っているか

トランザクション・メッセージの送信に Deliver を使用するには、デジタル・マーケティング・チームと企業のトランザクション・システムを担当するアプリケーション開発者との間で事前の準備と調整が必要です。

以下の表は、デジタル・マーケティング担当者がトランザクション・メッセージ用のメッセージングを準備するために実行する典型的なアクティビティです。

アクティビティ	説明
トランザクション・メッセージ要求を開始するトランザクションのタイプを特定する。	トランザクション・システムが、Eメールのトリガーとなるトランザクション・イベントを検出できることを、アプリケーション開発チームに確認します。
トランザクション・メッセージングに使用する Deliver 文書を作成し、公開する。	他の Deliver 文書と同じように、トランザクション・メッセージ用の Deliver 文書を作成します。
トランザクション Eメールで有効化する予定のメッセージングを完全に構成する。構成では、トランザクション Eメールに添付ファイルを含めるかどうかを指定します。	トランザクション Eメール用に作成した文書を参照します。添付ファイルを含む場合は、添付ファイルの数を指定します。
文書で使用されるすべてのパーソナライズ・フィールドを特定する。「メール配信」タブには、文書で使用されるパーソナライズ・フィールドのリストが含まれています。	アプリケーション開発者は、トランザクション・メッセージ・クライアント・アプリケーションを構成して、パーソナライズ情報を提供する必要があります。
名前とパーソナライズ・フィールドの定義をアプリケーション開発者に提供する。	各トランザクション・メッセージ要求 Web サービス要求では、パーソナライズ・フィールド名と値を名前と値のペアで指定し、必要なデータ型を指定する必要があります。
アプリケーション開発者に、トランザクション・メッセージで有効化する予定のメッセージング用のメール配信コードを提供する。	開発者は、Deliver TMS のメッセージングを特定するために、この情報を必要とします。
トランザクション Eメールに添付ファイルが含まれるかどうかを判断する。動的なトランザクション・イメージを使用する場合は、トランザクション Eメール¥メッセージを定義する Eメール文書に添付ファイルのプレースホルダーを追加します。	添付ファイルの数とサイズについて、アプリケーション開発者と相談します。動的なトランザクション・イメージの識別に使用するラベルについて合意します。
「メール配信」タブのリンクを使用して、トランザクション・メッセージのメッセージングを有効化します。	トランザクション・メッセージのメッセージングを有効化すると、Deliver TMS は直ちにメッセージ要求の受け付けを開始します。
トランザクション・メッセージのメッセージングを有効化する前に、開発者がローカル・トランザクション・メッセージ・クライアントの構成を完了していることを確認する。	

トランザクション・メッセージのメッセージングの有効化について

トランザクション・メッセージは、トランザクション・メッセージに対して有効になっている標準メッセージングに基づいています。トランザクション・メッセージのメッセージングは、Campaign の「メーリングの概要」タブで有効にします。トランザクション・メッセージに対して有効になっているメッセージングを確認するには、「**Deliver メール配信**」ページを参照してください。

トランザクション・メッセージの任意の Deliver メッセージングを有効にできます。トランザクション・メッセージのメッセージングを有効にするようにメッセージング構成を更新していない場合、トランザクション・メッセージ要求は失敗します。ただし、個々のメッセージをトランザクション・メッセージとして送信するようにメッセージングを有効にした後でも、同じメッセージングを標準メッセージングとして実行して、大量のメッセージを含むメッセージング・キャンペーンを実行できます。

各トランザクション・メッセージ要求には、メッセージングを識別するメール配信コードが含まれている必要があります。トランザクション・メッセージのメッセージングを有効にする場合は、メール配信コードをメモし、ローカルのトランザクション・メッセージ・クライアントの構成を担当するアプリケーション開発者に提供します。

トランザクション E メール・メッセージにファイルを添付する場合は、メッセージング構成で添付ファイルの数を指定する必要があります。すべてのトランザクション E メール・メッセージは、指定した数の添付ファイルを受け取ります。メッセージング構成に入力された添付ファイルの数は、Deliver TMS に送信された Web サービス要求で構成された数と一致する必要があります。添付ファイルは、トランザクション E メールでのみ送信されます。Deliver では、メッセージングがトランザクション E メールに対しても有効になっている場合でも、標準メッセージングの実行時に添付ファイルの送信はサポートされません。

トランザクション・メッセージのメッセージングはいつでも無効にできます。例えば、メッセージング構成を変更するには、トランザクション・メッセージのメッセージングを無効にする必要があります。Deliver TMS は、トランザクション・メッセージのメッセージングが無効になっている間は、トランザクション・メッセージ要求を受け入れません。

ベスト・プラクティスとして、トランザクション・メッセージのメッセージングを有効にする前に、メッセージングを完全にテストし、メッセージングが参照する Deliver 文書をプレビューします。メッセージングとメッセージが期待とビジネス目標を満たしていることを確認します。

トランザクション・メッセージの有効になっているメッセージングの編集について

トランザクション・メッセージの有効になっているメッセージングを編集するには、開始する前にトランザクション・メッセージのメッセージングを無効にする必要があります。

メッセージングの編集が終了したら、トランザクション・メッセージのメッセージングを再度有効にする必要があります。このプロセス中、Deliver TMS は無効化されたメッセージングに対するトランザクション要求に応答しません。トランザクション・イベントをモニターするローカル・システムは、トランザクション・メッセージのメッセージングを再度有効にするまでメッセージ要求を一時的に保存するように設計する必要があります。

トランザクション E メールに関連するエラーへの対応について

トランザクション E メール・メッセージが期待どおりに送信されない場合があります。メッセージ構成の問題や、メール配信リソースの一時的な問題が原因である可能性があります。Deliver TMS が問題が存在すると判断した場合、Web サービスはローカルのトランザクション E メール・クライアントに通知エラー・コードを返します。

ローカルのトランザクション E メール・クライアントがエラー処理を行います。アプリケーション開発者は、Deliver TMS が返す可能性のあるエラー・メッセージを認識するようにクライアントを設計する必要があります。Deliver TMS のエラー・コードのリストについては、「[トランザクション E メールのエラーメッセージ ページ 25](#)」を参照してください。

すべての関係者は、予期しない E メールの問題に対応できるように準備しておく必要があります。問題がメール配信の構成やメッセージの設計に関連している場合、アプリケーション開発者はデジタル・マーケティング・チームに問題の解決を依頼することがあります。

アプリケーション開発者が行うトランザクションメッセージ

アプリケーション開発者は、トランザクションメッセージ要求をクライアントに送信するローカルトランザクションメッセージクライアントを作成します。Unica Deliver トランザクションメッセージサービス (TMS)。

ローカルのトランザクションメッセージクライアントアプリケーションは、各トランザクションメッセージメッセージを処理します。Deliver HTTPS 接続上の TMS。Unica は、開発者が Web サービス要求を設計するための WSDL を提供しません。WSDL の詳細については、[を参照してください。トランザクションメール配信用の WSDL on page 15](#)。

ローカル・トランザクションメッセージクライアントアプリケーションを作成するには、組織のトランザクションシステムを担当するアプリケーション開発チームとデジタルマーケティングチームとの間の調整が必要です。デジタルマーケティング担当者は、トランザクションメッセージとして送信されるトランザクションメッセージと添付ファイルに関する情報を提供します。

次の表に、アプリケーション開発者が実行する必要があるアクティビティをリストします。

アクティビティ	説明
トランザクションメッセージをトリガーするトランザクションイベントのタイプを検出するために必要なトランザクション監視システムを構築します。	デジタル マーケティング チームに問い合わせ、適切なトランザクション イベントとしての資格があるビジネスまたは顧客アクティビティを決定します。
クライアントに接続するローカルトランザクションメッセージクライアントアプリケーションを、コーディングまたは設定します。Deliver TMS を定義し、指定のトランザクションイベントにตอบสนองして Web サービス要求を送信します。	が提供している WSDL とトランザクションメッセージクライアントのサンプルの例を確認してください。Unica を参照してください。
クライアントは、あなたのホストメッセージアカウントのアクセス資格情報を提供する必要があります。	Unica は、メールの添付ファイルを処理できるトランザクション用のメールクライアントのモデルとして更新された WSDL を提供します。WSDL

アクティビティ

説明

Web サービス要求を構成して、個人化情報を名前と値のペアとして提供します。要求では、各カスタマイズフィールドのデータタイプも指定する必要があります。

メールの添付ファイルの送信が要件であるかどうかを決定するには、デジタルマーケティングチームに連絡してください。

デジタルマーケティングチームと調整して、トランザクションのメールメッセージと添付ファイルに必要なカスタマイズのソースを特定する。

エラー処理を設計し、コード化します。

デジタルマーケティングチームと調整して、ローカルトランザクションメッセージクライアントと DeliverTMS。

の以前のバージョンでは添付ファイルの使用をサポートしていませんでした。

トランザクションメッセージクライアントは、トランザクションメッセージ要求で個人設定値を提供するビジネスシステムとデータベースに接続する必要があります。

次に DeliverTMS クライアントが接続できない場合や Web サービス要求が失敗した場合に管理者に通知する機能。

から返されるエラーコードについては、Deliver TMS、[「」](#)を参照 [AdvisoryMessage on page 24](#).

デジタル marketer は、トランザクションメッセージのテスト用にメッセージを有効にし、テストアドレスを指定する必要があります。

アプリケーション開発者は、ターゲットのトランザクションイベントをシミュレートし、ローカルのトランザクションメッセージクライアントに予想されるトランザクションと個人化情報を提供する方法を考案する必要があります。

Chapter 2. との統合Deliverトランザクションメッセージサービス

[Deliverトランザクションメッセージシステム (TMS) は、の一部としてホストされる Web サービスです。HCL Unicaホストされているサービス。アプリケーション開発者は、組織のデジタルマーケティング担当者と共同して、組織のトランザクションシステムとを統合するために必要なクライアントアプリケーションを作成する必要があります。Deliver TMS.これらのクライアントアプリケーションは、クライアントに SOAP 要求を送信することで、各トランザクションメッセージを開始します。Deliver HTTPS 接続上の TMS。

トランザクションメッセージ要求を送信するクライアントアプリケーションは、以下のアクションを実行できなければなりません。

- トランザクションメッセージをトリガーするトランザクションを識別します。
- メッセージのカスタマイズに使用するデータが含まれるマーケティングデータベースに接続します
- トランザクションメッセージ要求を SOAP 要求として開始⑥
- アクセスするための資格情報を指定しますDeliver安全な接続上の TMS
- 添付ファイルの内容を含むメッセージ情報を提供します
- 次から返されるエラーメッセージを処理します。Deliver TMS

トランザクションメッセージに必要なアクションはすべて、手動で実行せずに実行する必要があります。Unica自動化された Web サービスのDeliverTMS.詳しくは、『[トランザクションメール配信用の WSDL on page 15](#)』のトピックを参照してください。

トランザクションイベントの識別

アプリケーション開発者は、組織で使用されるトランザクション監視システムと相互作用するローカルトランザクションメッセージクライアントを設計する必要があります。クライアントは、入力としてトランザクション通知を受け取り、トランザクション管理システムが報告するトランザクションイベントのタイプを識別しなければなりません。

トランザクションイベントには、トランザクション管理システムが検出できるすべてのアクションを指定できます。例えば、トランザクションイベントには、購入、顧客のサービス要求、情報要求、顧客アカウントステータスの変更などがあります。

通常、要求トランザクションメッセージとなるトランザクションイベントのタイプと、それに応じて送信されるメッセージのコンテンツは、マーケティング組織が決定します。それぞれのトランザクションイベントは、への個別のトランザクションメッセージ要求を必要とします。Deliver TMS.

受信者データへのアクセス

トランザクションメッセージをカスタマイズするには、ローカルのトランザクションメッセージクライアントは、トランザクションメッセージで使用される受信者固有のデータを提供できるビジネスシステムとデータベースにアクセスする必要があります。

アプリケーション開発者は、トランザクションメッセージが有効なメールで参照されるメッセージで使用されている個人化フィールドを特定するために、デジタルマーケティングチームと共同で作業する必要があります。要約Deliver[メーリング]タブには、メールで使用されている個人設定フィールドのリストへのリンクがあります。

カスタマイズフィールドは、メールの受信者固有の情報のプレースホルダです。この情報は、組織が管理するビジネスシステムとデータベースから提供されたものです。ローカルのトランザクションメッセージクライアントは、これらのシステムにアクセスでき、個人設定フィールドの値として使用されるデータを取得できなければなりません。

配信 TMS への接続

ローカル・トランザクションメッセージクライアントは、Unicaホストメッセージアカウントに割り当てられたデータセンターです。クライアントは、Web サービス要求の一部として適切な認証証明書を提供できる必要があります。

指定するデータセンターの詳細については、を参照してください。 [DeliverTMS アドレス on page 15](#) .

認証情報を提供する方法については、を参照してください。 [トランザクションメッセージへの認証情報の提供について on page 16](#) .

DeliverTMS アドレス

Unicaが、トランザクションメッセージ処理用に予約したメッセージドメインを確立しました。次へのアクセスを要求するように、トランザクションメッセージアプリケーションを設定する必要があります。HCL Unica正しいドメインの使用を許可しています。使用するドメインは、Unicaデータセンターが要求を処理します。

でトランザクションメールを処理するにはUnicaデータセンターの場合、 `tms-us.unicadeliver.com`への接続を設定します。

でトランザクションメールを処理するにはUnicaヨーロッパのデータセンターの場合は、 `tms-eu.unicadeliver.com`への接続を設定します。

どのデータセンターが分からない場合Unicaがトランザクションメールの処理に使用している場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

トランザクションメール配信用の WSDL

Unicaにアクセスするアプリケーションを作成するために、2つのバージョンの WSDL を提供します。Deliver TMS.どれを選択するかは、メールの添付ファイルを使用するかどうかと、クライアントアプリケーションがアクセス証明書をどのように提供するかによって異なります。へのインターフェースの作成方法を記述しています。Deliverメールの添付ファイルの提供をサポートする TMS です。また、SOAP ヘッダーを変更するのではなく、Web サービス要求のパラメータとしてアクセス資格情報を指定する方法についても説明します。

WSDL は、次のサイトからダウンロードできます。Unica管理するデータセンターUnicaから、への接続に使用するよう指定されました。Deliver TMS.ダウンロード URL を次のように作成します:

```
<割り当てられた TMS への接続用 URL>/delivertms/services/TMS?wsdl
```

Unicaに、第2世代 WSDL に基づいたローカルトランザクションメールクライアントの作成方法の例を示します。例を表示するには、を参照してください。 [サンプルクライアント on page 30](#)



Note: 既に第 1 世代の WSDL に基づいたトランザクションメールクライアントを作成している場合、第 2 世代の WSDL に基づいたクライアント設計に変更した場合にコードを再コンパイルする必要があります。

第 2 世代の WSDL

第 2 世代の WSDL は、Deliverメールの添付ファイルの提供をサポートする TMS です。この WSDL では、SOAP ヘッダーを変更するのではなく、Web サービス要求のパラメータとしてアクセス資格情報を指定する方法についても説明します。

第 2 世代の WSDL は、次のサイトからダウンロードできます。Unica管理するデータセンターUnicaから、への接続に使用するよう指定されました。Deliver TMS.ダウンロード URL を次のように作成します:

```
<割り当てられた TMS への接続 URL>/deliverds/services/TMS?wsdl
```

Unicaに、第 2 世代 WSDL に基づいたローカルトランザクションメールクライアントの作成方法の例を示します。例を表示するには、を参照してください。[サンプルクライアント on page 30](#)



Note: 既に第 1 世代の WSDL に基づいたトランザクションメールクライアントを作成している場合、第 2 世代の WSDL に基づいたクライアント設計に変更した場合にコードを再コンパイルする必要があります。

トランザクションメッセージへの認証情報の提供について

ローカルのトランザクションメッセージクライアントは、クライアントへの接続に必要な認証証明書を提供できなければなりません。Deliver TMS を自動的に実行します。

トランザクションアプリケーションは、トランザクションメッセージを要求する場合、アクセスするための認証情報を提供する必要があります。HCL Unicaホストされているサービス。アクセス資格情報を提供するには、SOAP ヘッダーを変更するか、SOAP Web サービス要求でパラメーターとして指定します。

SOAP 要求でクライアントが提供する必要があるユーザー名とパスワードは、管理者に割り当てられたユーザー名とパスワードです。Deliver削除することができます。これらの資格情報が分からない場合は、組織内のアカウント管理担当者にお問い合わせください。Unica 技術サポート。

SOAP ヘッダーへのアクセス資格情報の追加

[Deliver TMS は、Web サービス要求でユーザー名とパスワードを要求します。次のユーザーのアクセス資格情報を含めるための Web サービス要求の SOAP ヘッダーの変更HCL Unicaホストサービスは、Deliver TMS.トランザクションメールメッセージで添付ファイルを使用する場合は、この方法は使用できません。

Before you begin

開始する前に、自分用に作成したユーザー名とパスワードを取得してください。Unica Deliverホストされているメールアカウント。

About this task

SOAP ヘッダーに追加するユーザー名とパスワードは、ユーザー用に作成したユーザー名とパスワードである必要があります。Unica Deliverホストされているメールアカウント。次のコード例は、Axis2 SOAP ライブラリに基づいています。

```
文字列userName = "<Unica Delivery アカウトのユーザー名>";文字列パスワード = "<Unica Delivery アカウトのパスワード>";
```

クライアントアプリケーションのヘッダーを次のように変更します。

```
ServiceClient serviceClient = separator._getServiceClient(); serviceClient.addStringHeader(new QName
("http://soap.tms.webservices.deliver.unica.com", "userName", "ns2"), userName); serviceClient.
```

Results

変更したヘッダーは、この例のように表示される必要があります。UserNameとPasswordは、サーバーのユーザー名とパスワードです。Deliver削除することができます。

```
<ns2:userName xmlns:ns2="http://soap.tms.webservices.deliver.unica.com"> ユーザー名</ns2:userName> <ns2:password
xmlns:ns2="http://soap.tms.webservices.deliver.unica.com"> パスワード</ns2:password>
```

パラメータとしてのアクセス資格情報

ローカルにアクセスするトランザクション用のメールクライアントを作成できます。HCL Unica Web サービス要求のパラメータとして証明書を送信することにより、ホストサービスを提供します。

アクセス資格情報をパラメータとして送信するには、Deliver TMS.この WSDL の詳細については、[を参照してください。第2世代の WSDL on page 16](#) .

トランザクションメール要求の添付ファイル

[Deliver TMS は、トランザクションメールメッセージへの1つ以上のファイルの添付をサポートしています。Web サービス要求には、ファイルの内容と、各ファイルを説明する情報が含まれている必要があります。

次の場所から使用できます。Unicaに、メールの添付ファイルを含むトランザクション要求メールの設定方法を説明します。トランザクションメール要求では以下を指定する必要があります。

- 添付するファイル名
- ファイルの MIME コンテンツタイプ
- ファイルのコンテンツ

次のユーザーに添付ファイルを渡します。Deliver TMS を個別の MIME パートとしてインラインで使用:

- SOAP メッセージ送信最適化メカニズム (MTOM)
- 添付ファイル付き SOAP メッセージ (SWA)

これらの標準の詳細については、W3C Web サイトを参照してください。

トランザクションメール要求の構成

にアクセスするにはDeliverTMSと同様に、トランザクションメールクライアントはTMSに接続するための資格情報を提供する必要があります。また、Web サービス要求の一部としてメールアドレスとメッセージ情報を提供する必要があります。Unicaでは、トランザクションメールの送信に必要なすべての情報を含む SOAP 要求を構造化するためのガイドとして、2つのバージョンの WSDL を提供しています。

WSDLの詳細については、を参照してください。[トランザクションメール配信用の WSDL on page 15](#).

以下のトピックでは、クライアントアプリケーションが Web サービス要求で定義する必要があるパラメータについて説明します。

- [mailingcode on page 18](#)
- [listenerID on page 18](#)
- [フィールド on page 19](#)
- [セル・コード on page 19](#)
- [additionalOptions on page 20](#)
- [添付ファイル on page 20](#)
- [トラッキングフィールド on page 20](#)
- [locale on page 21](#)
- [userName on page 21](#)
- [パスワード on page 22](#)

mailingcode

mailingcodeパラメーターは、構成で定義された固有の郵便番号を指定します。Deliverトランザクションメールを有効にしたメール。**mailingcode**は、トランザクションメールインで定義されている固有のメールリングコードを指定します。Marketing Center . Marketing Centerは、メールリングが展開された後に、コードをメールリングに割り当てます。コードは、メールリングの「**デプロイ**」タブに表示されます。

パラメーター名

mailingcode

データタイプ

ストリング

宛先コードはアカウント内で固有であるため、このパラメーターを使用して宛先を識別できます。特定の値については、メールを参照してください。

ローカルのトランザクションメールクライアントアプリケーションでメールリングコードを設定可能にして、必要に応じて別のメールをポイントできるようにします。

listenerID

追加のレポートと処理を実行するときにトランザクションメールメッセージをメール受信者に関連付けるには、**AudienceID**パラメーターを定義します。

パラメーター名

listenerID

データタイプ

異なる。

トランザクションメール受信者の1つ以上の聴衆 ID を特定できます。**listenerID**のデータを名前と値のペアの配列として渡します。

それぞれの**listenerID**には、任意の値または値のセットを定義できます。例えば、**audienceID**の値として、プロモーションコード、アカウントタイプ、地域識別子、または3つすべてを使用できます。

各要求は1人の個人にトランザクションメールを送信するため、固有の**listenerID**を定義することで、特定のメール受信者を識別できます。このシナリオでは、**listenerID**の値として顧客アカウント番号を使用します。

Deliverトラッキングレコードに、`audienceID`に指定した名前と値を追加します。Deliverシステムテーブル。個々の視聴者 ID の値は**UCC_Envelope**テーブルに保存されています。**UCC_EnvelopeAttr**テーブルには、複数の視聴者 ID 値が保存されています。

インUnica Campaignでは、トラッキングの目的で個人を特定するさまざまなユーザーレベルを定義できます。[Deliver TMS は、トランザクションメール要求の **listenerID** に指定した対象ユーザー名が、次の場所で定義されているユーザー名と一致することを検証しません。Campaign.トラッキング結果を解釈する際の混乱を避けるため、マーケティングチームに連絡して、渡す正しいユーザー名と値を決定してください。

フィールド

`fields`パラメータを使用して受信者固有の情報を提供し、トランザクションメールで定義されたパーソナライゼーションフィールドに入力します。

パラメーター名

`fields`

データタイプ

可変

メールメッセージで使用されている個人設定フィールドごとに、データを個別の名前と値のペアとして指定します。

によって参照される文書に含まれる各カスタマイズフィールドを特定する必要があります。Deliverを参照してください。名前と値のペアは、文書で定義されているとおりの個人化フィールド名を提供する必要があります。適切なデータ型の任意の値を割り当てることができます。

セル・コード

`cellCodes`パラメーターはオプションです。デフォルトでは、Deliver TMS は、このパラメータに NULL 値を受け取ることを予期しています。`cellCodes`の値を指定した場合、各 Web サービス要求で1つのセルコードのみを渡すことができます。

パラメーター名

セルコード

データタイプ

ストリング

セルとセルコードを定義しますUnica Campaign.セルは識別子(データベースの顧客 ID や見込客 ID など)のリストです。流れ図で生成されるそれぞれのセルには、システム生成のセルコードがあります。メッセージの受信者を含むセルを指定する場合、Web サービス要求にセルコードを含めることができます。

セルの定義の詳細については、*Unica Campaign*ユーザーズガイド

additionalOptions

このパラメータは、将来の使用のために予約されています。

パラメーター名

additionalOptions

データタイプ

NULL

添付ファイル

トランザクションメールメッセージに添付するファイルを指定するには、このパラメータを使用します。Web サービス要求には、添付ファイルのコンテンツが指定した形式で含まれます。

このパラメーターの複数のエレメントの値を指定できます。メールメッセージに動的なトランザクション画像が含まれる場合、このパラメーターの要素として画像ラベルを指定します。

パラメーター名

添付ファイル

データ型

fileName: 添付ファイルの名前。名前を文字列として渡します。

label: 動的トランザクションイメージの識別に使用されます。メールに動的なトランザクション画像が含まれる場合、ラベルを文字列として渡します。それ以外の場合は、この値を null として渡します。

ラベル: カスタマイズされた画像の識別に使用されます。メールにカスタマイズされた画像が含まれている場合、ラベルを文字列として渡します。個別に設定した画像を使用していない場合は、ラベルを省略できます。

fileContent: 添付ファイルの MIME コンテンツタイプ。タイプは常にbase64Binary です。

label属性を使用して動的トランザクションイメージを特定する方法の詳細については、[を参照してください。動的トランザクションイメージについて on page 31 .](#)

トラッキングフィールド

追加の連絡先のトラッキングに使用する個人用フィールドを指定するためにこのパラメータを使用します。

パラメーター名

トラッキングフィールド

データタイプ

異なる。このデータを、トラッキングに使用する個人設定フィールドごとに個別の名前と値のペアとして渡します。

追加の連絡先トラッキングで提供される連絡先と返答情報、および必要な準備の詳細については、以下の「追加トラッキング」のセクションを参照してください。 *Unica Deliver* ユーザーズ・ガイド。

locale

このパラメータは、ロケールを指定します。Deliverトランザクションメールサービス。

このセクションでは、サポートされているロケールで有効な引数をリストします。



Note: 利用可能なロケールのリストですDeliverTransactional Mailing Service は、その領域で使用可能なロケールのリストとは異なりますMarketing Center.

パラメーター名

locale

データタイプ

ブラジルポルトガル語: `arg.locale=pt_BR`

英語: `arg.locale=en_US`

フランス語: `arg.locale=fr`

ドイツ語: `arg.locale=de`

イタリア語: `arg.locale=it`

日本語: `arg.locale=ja`

韓国語: `arg.locale=ko`

ロシア語: `arg.locale=ru`

中国語(簡体字): `arg.locale=zh_CN`

スペイン語: `arg.locale=es`

userName

このパラメータには、ホストメールアカウントに関連付けられるユーザー名を指定します。ユーザー名の指定は、接続を確立するために必要な認証の一部です。Deliver TMS.ホストされるメールアカウントに割り当てられているパスワードを指定する必要があります。

パラメーター名

userName

データタイプ

ストリング

ホストされているメールアカウントの詳細情報と、への安全な接続の確立についてHCL Unicaホストサービスについては、
[Unica Deliver起動と管理者のガイド]

パスワード

このパラメータには、ホストメールアカウントに関連付けられるパスワードを指定します。パスワードの指定は、接続を確立するために必要な認証の一部です。Deliver TMS.ホストされるメールアカウントに割り当てられているユーザー名を指定する必要があります。

パラメーター名

パスワード

データタイプ

ストリング

ホストされているメールアカウントの詳細情報と、への安全な接続の確立についてHCL Unicaホストサービスについては、
[Unica Deliver起動と管理者のガイド]

Chapter 3. Delivery Transactional Mailing Service API

[Deliver Transactional Mailing Service は、でホストされている Web サービスです。HCL Unica .これは、 `sendMailing` というメソッドを 1 つ含む API を提供します。

`sendMailing`メソッドは次のカスタム型を使用します。

- `NameValuePair`

メーリング入力を名前と対応する値として保存するメソッドを提供します。参照[NameValuePair on page 23](#)

- 応答

トランザクションメール要求のステータスメッセージを提供します。参照[応答 on page 23](#)

- `AdvisoryMessage`

要求ステータスが警告またはエラーを示す場合、詳細な応答を提供します。参照[AdvisoryMessage on page 24](#)

NameValuePair

`NameValuePair`タイプは、パラメータ名を送信するための以下のメソッドを提供します。

パラメータは、文字列、数値、日時の値として送信できます。



Note: `NameValuePair`は日時パラメータ値をサポートしていますが、Deliverは現在、日時値の使用をサポートしていません。

メソッド	パラメーター
<code>setName</code>	名前
<code>setValueAsString</code>	<code>valueAsString</code>
<code>setValueAsNumeric</code>	<code>valueAsNumeric</code>
<code>setValueAsDate</code>	<code>valueAsDate</code>
<code>setValueDataType</code>	<code>valueDataType</code>

応答

「**応答**」カスタムタイプは、メール要求が成功したか、要求の結果がエラーや警告になったかを示す一般的な確認メッセージを提供します。

次の表に、**Response**のステータスタイプと関連コードをリストします。これらのコードは、メール要求の成功または失敗を表す高レベルステータスコードです。**AdvisoryMessage**カスタムタイプは、メール要求が失敗した理由を説明する、より詳細なメッセージへのアクセスを提供します。

ステータスタイプ	説明	コード
Status_SUCCESS	への要求DeliverTMS は正常に完了しました。	0
Status_WARNING	要求で1つ以上の警告が発生しましたが、エラーは発生していません。クライアントは、より詳細についてAdvisoryMessageタイプを照会できます。	1
ステータス_エラー	要求で少なくとも1つのエラーが発生しました。	2

返答の方法

Response型には以下のメソッドが含まれます。

メソッド	説明	返品
getAdvisoryMessages	警告メッセージのリストを返します。	AdvisoryMessage[]
getApiVersion	APIバージョンを返します。	ストリング
getStatusCode	応答で最も重大な警告メッセージを返します。 たとえば、応答に警告(コード:1)とエラー(コード:2)が含まれている場合、このメソッドは2を返します。	Int

AdvisoryMessage

AdvisoryMessageカスタムタイプは、ステータスメッセージに関する詳細を提供します。

次の表に、ステータスタイプとAdvisoryMessageタイプの関連コードをリストします。

ステータスタイプ	説明	コード
ステータス_レベル_情報	単なる通知メッセージです。への呼び出しの失敗は反映していません。Deliver TMS.	0
ステータス_レベル_WARNING	への呼び出しDeliverTMS は成功しましたが、さらに調査が必要な問題が存在します。	1
ステータス_レベル_エラー	への呼び出しDeliverTMS が失敗しました。	2

AdvisoryMessage のメソッド

AdvisoryMessageタイプには、以下のメソッドが含まれます。

メソッド	説明	返品
getStatusLevel	ステータスメッセージの重大度を返します。:情報、警告、エラー。 例えば、ステータス_レベル_エラーの場合、このメソッドはコード ₂ を返します。	Int
getMessageCode	エラーメッセージのコードを返します。 たとえば、エラー_INVALID_LOGINの場合、このメソッドはコード ₁ を返します。	Int
getMessage	エラーメッセージを返します。	ストリング
getDetailMessage	エラーメッセージの詳細が存在する場合、それを返します。	ストリング

トランザクション E メールのエラーメッセージ

Deliver トランザクション・メール配信サービスは、エラー・メッセージと関連コードを返します。

次の表で説明するエラー・メッセージは、トランザクション E メールおよびトランザクション E メール要求にのみ適用されます。

メッセージ	説明	コード
INVALID_LOGIN	Deliver TMS への呼び出し中に指定された認証資格情報(ユーザー名、パスワード、またはその両方)が、ご使用のアカウントについて Unica のファイルに記載された資格情報と一致しません。 userName および password パラメーターをレビューして、資格情報が正しく指定されていることを確認します。	1
UNRECOGNIZED_MAILING_CODE	Deliver TMS への呼び出しに含まれるメール配信コードによって識別されたメール配信が、トランザクション E メールに対して有効になっていません。メール配信構成を調べて、コードを確認します。 mailingCode	2

メッセージ	説明	コード
	パラメーターをレビューして、コードが正しく構成されていることを確認します。TMS への呼び出しに含まれているメール配信コードが、トランザクション・メール配信と一致しません。メール配信を調べて、コードを確認します。 mailingCode	
	パラメーターをレビューして、コードが正しいことを確認します。	
RUNTIME_EXCEPTION_ENCOUNTERED	E メール要求で予期しない実行時例外が発生しました。Unica サポートに連絡してください。	5
ENVIRONMENT_EXCEPTION_ENCOUNTERED	E メール要求で予期しない環境例外が発生しました。Unica サポートに連絡してください。	6
SMTP_CONNECTION_FAILURE	SMTP サーバーへの接続に失敗しました。Unica サポートに連絡してください。	7
DOCUMENT_NOT_DEFINED_FOR_SPECIFIED_MAILING	トランザクション E メールに対して有効になっているメール配信が、Deliver ドキュメントを参照していません。メール配信構成を調べます。メール配信構成では、E メール・メッセージのコンテンツを定義する E メール・ドキュメントを参照する必要があります。メール配信に E メールが含まれていません。	8
EMAIL_FAILED_TO_SEND	E メール・メッセージは正常に送信されませんでした。もう一度試す	9

メッセージ	説明	コード
REQUIRED_PFS_MISSING	<p>か、Unica サポートにお問い合わせください。</p> <p>E</p> <p>メール要求で、メール配信に必要なすべてのパーソナライズ・フィールドの名前と値が指定されていませんでした。Web サービス要求で、E</p> <p>メール・ドキュメントで使用されるすべてのパーソナライズ・フィールドが定義されていることを確認します。メール配信構成には、必要なパーソナライズ・フィールドをすべてリストするリンクが含まれています。E</p> <p>メール要求で、メール配信に必要なすべてのフィールドの名前と値が指定されていませんでした。Web サービス要求で、E</p> <p>メールで使用されるすべてのフィールドが定義されていることを確認します。メール配信リストには、すべての必須フィールドがリストされます。</p>	10
AUDIENCE_ID_MISSING	<p>要求にオーディエンス ID が含まれていません。Web サービス要求で audienceID パラメーターの値が定義されていることを確認します。</p>	15
ATTACHMENT_NUMBER_MISMATCH	<p>メール配信で定義された添付ファイルの数が、Web サービス要求で渡された数と一致しません。メール配信構成と Web サービス要求をレビューします。メール配信構成と Web サービス要求では、同じ数の添付ファイルを指定する必要があります。メール配信で定義された添付ファイルの数が、Web</p>	12

メッセージ	説明	コード
ATTACHMENT_SIZE_EXCEEDED	<p>サービス要求で渡された数と一致しません。メール配信と Web サービス要求をレビューします。メール配信と Web サービス要求では、同じ数の添付ファイルを指定する必要があります。</p>	13
TOTAL_ATTACHMENT_SIZE_PER_MESSAGE_EXCEEDED	<p>いずれかの添付ファイルのサイズが、添付ファイルに許可されている最大サイズを超えています。個々の添付ファイルが 1 MB を超えることはできません。</p> <p>要求内のすべての添付ファイルの合計サイズが、メッセージごとの添付ファイルの最大合計サイズを超えました。すべての添付ファイルの合計サイズが 2 MB を超えることはできません。</p>	14
TMS_MAILING_ATTACHMENTS_LABEL_NOT_FOUND	<p>attachments</p> <p>パラメーターに指定されたラベル (通常は動的トランザクション・イメージを識別するため) がないか、E</p> <p>メール・ドキュメントに含まれているラベルと一致しません。注: 添付ファイル・ラベルは大/小文字が区別されます。Web</p> <p>サービス要求に入力するラベルは、メール・ドキュメントに入力されているラベルと完全に一致する必要があります。 attachments</p> <p>パラメーターに指定されたラベル (通常はパーソナライズ・イメージを識別するため) がないか、E</p> <p>メールのラベルと一致しません。</p> <p>注:</p> <p>添付ファイル・ラベルは大/小文字が区別されます。Web</p> <p>サービス要求のラベルは、E</p>	15

メッセージ	説明	コード
TMS_MAILING_ATTACHMENTS_LABEL_DUPLICATED	<p>メールのラベルと完全に一致する必要があります。</p> <p>attachments</p> <p>パラメーターに指定されたラベル (通常は動的トランザクション・イメージを識別するため) が、Web サービス要求に複数回表示されません。Web サービス要求では、添付ファイル・ラベルは一意である必要があります。 attachments</p> <p>パラメーターに指定されたラベル (通常はパーソナライズ・イメージを識別するため) が、Web サービス要求で複数回発生しません。Web サービス要求では、添付ファイル・ラベルは一意である必要があります。</p>	16

Chapter 4. サンプルクライアント

Unicaに対して Web サービスを呼び出すクライアントアプリケーションを作成するアプリケーション開発者をガイドする、サンプルトランザクションメッセージクライアントを提供します。Deliverトランザクションメッセージサービス (TMS)。このサンプルクライアントは、第2世代のWSDLに基づいています。

このWSDLと以前のバージョンの主な違いは、このバージョンはトランザクションメッセージで添付ファイルの使用をサポートし、認証証明書パラメータとして提供することです。

次のプログラムは、ユーザーへの要求を構成する例です。Deliverトランザクションメールサービス。システムのアプリケーションプログラミングインターフェースの使用法の説明としてこの例を確認してください。Deliver TMS。

この例は、axis2 1.3 のライブラリに基づいています。axis2 1.3 の詳細は、Web サイト<http://ws.apache.org/axis2/> を参照してください。

```
public class SampleTestClient { public static void main(String[] args) throws AxisFault,
RemoteException { /** * TMS Web サービスのsendMailing メソッドは、以下を必要とします: * 1) 適切な認証情報
- TMS が認識できる有効なユーザー名とパスワード * 2 ) 送信される文書が含まれるメーリングを識別する
mailingcode * 3) 対象ユーザー識別子 (主にトラッキングに使用) * 4) 送信される文書に統合される個人フィールド
* 5) 関連付けられたオプションのセルコードを視聴者識別子に追加します。 * 6) オプションの追加オプション -
現在サポートされている追加オプションはありません。現時点では、このパラメータは NULL のままにすることができます。
* 7) オプションの、返される応答メッセージのロケールです。 それ以外の場合は、デフォルトは「en」 (Locale.US)
です。 */ // 認証情報 String userName = "MyTMSUserName";文字列パスワード = "MyTMSPassword"; //
メーリングコード String mailingcode = "mailing 123"; // listener id: 注意。 オーディエンス ID は、少なくとも 1
つの名前と値のペアで構成されます。 // NameValuePair というカスタム型を作成する必要があります。NameValuePair[]聴衆Id
= 新しい NameValuePair[1]; NameValuePair nvp = new NameValuePair(); nvp.setName("CustomerID");
nvp.setValueDataType("数値"); nvp.setValueAsNumeric(2021); listenerId[0] = nvp; // 個人化されたフィールド:
それぞれの 個人化されたフィールドは名前と値のペアです。この例では、2 つのカスタマイズされたフィールド (emailAddress、性)
を送信します。 NameValuePair[] trends NameValuePair nvp1 = new NameValuePair(); nvp1.setName("emailAddress");
nvp1.setValueDataType("文字列"); nvp1.setValueAsString("johndoe@foobar.com");個人化されたフィールド[0] =
nvp1; NameValuePair nvp2 = new NameValuePair(); nvp2.setName("gender"); nvp2.setValueDataType("文字列");
nvp2.setValueAsString("male");個人化されたフィールド[1] = nvp2; // セルコード String[] { "CC243935" } ; //
データソースを使用して、ファイルシステムから添付データをロードします FileDataSourceLogo = new FileDataSource(new
File("C:\logo.png")); DataHandler listener = new DataHandler(logo); Base64Binary attachBinary
= new Base64Binary(); attachBinary.setBase64Binary(ハンドル); ContentType_type0actualContentType =
新しい ContentType_type0(); actualContentType.setContentType_type0(handler.getContentType()); //
添付ファイルのコンテンツタイプを指定します attachBinary.setContentType(actualContentType); //
添付ファイルを追加します attachment attach = new Attachment();添付ファイル.setFileName("最初の添付ファイル");
attach.setLabel("Attachment"); attach.setFileContent( attachmentBinary); // 添付ファイルを設定します
attachment[] {attachment} ; // 追加オプション - これは再び名前と値のペアです - ただし、ここは // null として送信
NameValuePair[] additionalOptions = null; NameValuePair[] trackingFields = null; // ロケール -
null を設定することでデフォルトに依存;文字列ロケール = NULL; /** * メソッドの呼び出し: * 1) TMS Web サービスの
URL を使用して接続オブジェクトを設定します * 2) 認証証明書を使用して必要なセキュリティヘッダーを作成します *
3) メソッドの作成とパラメータの設定 * 4) Call * 5) 応答の処理 */ // 接続オブジェクト TMSStub タブ = new
TMSStub("http://<配信 TMS サービスの IP の置換><PORT>/delivertms/services/TMS"); ServiceClient serviceClient
= separator._getServiceClient(); serviceClient.getOptions().setProperty(HTTPConstant.SO_TIMEOUT,
new Integer(60 * 1000)); serviceClient.getOptions().setProperty(HTTPConstant.接続_タイムアウト,
新しい整数(60 * 1000)); // 認証: TMS Web サービスは、Soap ヘッダーを介してユーザー情報とパスワード情報を //
送信することをクライアントに要求します。 // 次のコードは、ヘッダーを介して渡される // 認証資格情報を設定します。 Username
un = new Username(); un.setUsername(userName);パスワード pwd = new Password(); pwd.setPassword(password); //
呼び出しを作成します。 // 応答を処理します - CustomType 応答が返されます // すべての応答は、要求が成功 (0) か、警告 (1)
かエラー (2) が発生したかどうかを // 示すトップレベルコード付きで返されます。要求が // 成功しなかった場合、クライアントコードは //
問題をログに記録/警告し、問題によっては // 要求を再試行する必要があります。 { System.out.println("Request to TMS
successful"); } else // エラーまたは警告が発生しました
```

Chapter 5. 動的トランザクションイメージについて

動的トランザクションイメージは、トランザクションメールメッセージに含めることができる、特定の個人に固有のイメージです。動的トランザクションイメージはトランザクションメールの添付ファイルとして送信されますが、メッセージの本文に埋め込まれたイメージとして表示されます。

個別化した画像を使用する一般的な例として、トランザクションのメールメッセージへのチケットバーコードや QR コードの埋め込みがあります。組織のビジネスシステムがバーコードを作成し、ローカルのトランザクションメールクライアントに提供します。クライアントが DeliverTMS.画像は添付ファイルとして送信されるため、メールクライアントが画像を無効にするように設定されている場合でも、メールの受信者にはメールに表示されているバーコードが表示されます。

動的トランザクションイメージは標準のメールメッセージでは使用できず、メール用の拡張スクリプト内での使用はサポートされていません。

トランザクションメールメッセージでの動的トランザクションイメージの使用

動的トランザクションイメージを使用するには、メール設計者とトランザクションアプリケーション開発者が個別にアクションを実行する必要があります。メール設計者は、メール文書で画像ラベルを定義して、動的トランザクション画像がメールのどこに表示されるかを示します。アプリケーション開発者は、トランザクションメール要求のイメージラベルを参照するようにローカルのトランザクションメールクライアントを設定します。トランザクションメールの実行時、組織のトランザクションシステムがイメージコンテンツを提供します。

メール設計者は、メールを定義する HTML テンプレートでタグを変更することで、動的なトランザクション画像ラベルを定義します。設計者は、Deliver Document Composer を使用するか、HTML コードを直接変更する。イメージラベルで、動的トランザクションイメージ用に予約されている構文を使用します。画像ラベルの場所によって、動的トランザクション画像がメールの本文のどこにどのように表示されるかを決定します。

アプリケーション開発者は、メールに表示されるすべてのラベルがトランザクションメール要求で参照される必要があります。イメージラベルとイメージコンテンツは、ローカルのトランザクションメールクライアントがメールクライアントに送信する SOAP 要求の一部である必要があります。Deliver TMS.イメージラベルは大文字と小文字を区別し、メールでの定義どおりに SOAP 要求に表示する必要があります。

動的トランザクションイメージのイメージラベルの定義

特定の形式を使用して、動的トランザクションイメージのイメージラベルを定義します。

次の構文を使用して、メール文書の動的トランザクション画像のラベルを定義します。

```
#include: image_label #
```

ローカルのトランザクション E メールクライアントは、ユーザーが SOAP 要求の *image_label* に定義した値を参照します。Deliver TMS.

image_label の値では大文字と小文字が区別されます。メールで定義されているイメージラベルは、宛先に送信された SOAP 要求で提供されているイメージラベルと完全に一致する必要があります。Deliver TMS.メールマーケティングチームとアプリケーション開発者は、名前を一致させるための一貫した名前付け規則と手順を開発する必要があります。

DocumentComposer でイメージウィジェットを使用して、メール文書に動的トランザクションイメージのラベルを追加できます。メールの作成に使用されたテンプレートの HTML コードに、動的トランザクション画像のラベルを直接追加することもできます。



Note: 動的トランザクションイメージを含むメールをプレビューすると、画像リンクが正しく表示されません。この動作は正常です。次の場合にイメージが作成されます。Deliverは、トランザクションメール要求の一部としてイメージコンテンツを受信します。

イメージウィジェットを使用した動的トランザクションイメージの追加

画像ウィジェットはDeliverE メール文書内の動的トランザクションイメージを定義する場合の文書コンポーザー。イメージ URL を動的トランザクションイメージのイメージラベルに置き換えます。

Before you begin

次の手順では、イメージを特定するラベルを定義します。イメージラベルでは大文字と小文字が区別されます。トランザクションメール要求が完全に同じイメージラベルを使用してイメージを参照するには、アプリケーション開発者に問い合わせてください。

1. イメージウィジェットを挿入するか、メール文書のドロップ可能ゾーンにドラッグします。
2. 「**イメージ**」フィールドに、動的なトランザクションイメージのラベルを次の形式で入力します。

```
#include: image_label #
```

*image_label*を、イメージを特定する固有の名前に置き換えます。例えば、次のようになります。

```
#include:barcode1#
```

3. メール文書を保存します。

メールテンプレートへの動的トランザクション画像の直接追加

テンプレートの HTML コードで IMG タグを使用して、メール文書に動的なトランザクション画像を直接追加できます。

- IMG タグを以下のように定義します。

```

```

- *image_label*を、イメージを特定する固有の名前に置き換えます。おすすめの方法は、イメージに代替テキストを指定することです。

Example

例:

```

```

イメージリンクへの動的トランザクションイメージの追加

動的トランザクションイメージを使用して、トランザクションメールにイメージリンクを作成できます。

- 次のように、メールテンプレートで HREF タグを定義します。

```
<a href="link_target "></a>
```

- *image_label*を、イメージを特定する固有の名前に置き換えます。ターゲット URL は*link_target*の値です。おすすめの方法は、イメージに代替テキストを指定することです。

Example

例:

```
<a href="www.example.com"></a>
```

トランザクションメール要求で動的トランザクションイメージを指定する方法

トランザクションメールの Web サービス要求で、メールの添付ファイルとして動的トランザクションイメージを指定します。他のタイプの添付ファイルの添付ファイルサイズ要件は、動的トランザクションイメージにも適用されます。動的トランザクションイメージはそれぞれ 1 MB を超えることはできません。また、すべての添付ファイルの合計は 2 MB を超えることはできません。

1 つのイメージラベルをメールに複数表示できますが、SOAP 要求で 1 回のみ表示する必要があります。複数の添付ファイルで同じラベルを使用した場合。

トランザクションメールの添付ファイルとして動的トランザクションイメージを指定するには、添付ファイルパラメーターを使用します。attachsパラメーターで、label属性の値は、E メール文書で定義されているイメージラベルです。

動的トランザクションイメージを指定するようにattachsパラメーターを構成する方法の以下の例を考えてください。間近に予定されている顧客会議への参加パスと行き方が記載されたマップを含むトランザクション E メールを送信すると仮定します。Web サービス要求で 2 つの添付ファイルを構成する必要があります。最初の添付ファイルは、受信者の会議への参加を許可する QR コードです。2 番目の添付ファイルは、顧客が現在ファイルに登録している実際のアドレスからの車のルートを提供する地図です。次の例は、Web サービス要求の添付ファイル部分がどのようになるかを示しています。

```
// 添付ファイルの設定 この例では、2 つの添付ファイルがあります。 //これは 2 つの添付ファイルのうちの最初の添付ファイルです //
データソースを使用してファイルシステムから添付ファイルデータをロードします FileDataSource QRdataSource = new
FileDataSource(new File("C:\QR.png")); DataHandler QRhandler = new DataHandler(QRdataSource); Base64Binary
QR attachmentBinary = new Base64Binary(); attachBinary.setBase64Binary(QRhandler); ContentType_type0
QRcontentType = new ContentType_type0(); QRcontentType.setContentType_type0(QRhandler.getContentType()); //
添付ファイルのコンテンツタイプを指定します QR attachmentBinary.setContentType(QRcontentType); //
添付ファイルの追加Attachment QRblock = newAttachment(); QRblock.setFileName("QR.png");
QRblock.setLabel("PremiumTix_QR"); QRblock.setFileContent(QR attachmentBinary); //これは 2
つの添付ファイルの 2 番目です // データソースを使用してファイルシステムから添付ファイルデータをロードします
FileDataSource MAPdataSource = new FileDataSource(new File("C:\SiteMap.png")); DataHandler MAPhandler
= new DataHandler(MAPdataSource); Base64Binary MAP attachmentBinary = new Base64Binary(); MAP
attachmentBinary.setBase64Binary(MAPhandler); ContentType_type0 MAPcontentType = new ContentType_type0();
MAPcontentType.setContentType_type0(MAPhandler.getContentType()); // 添付ファイルのコンテンツタイプを指定します MAP
attachmentBinary.setContentType(MAPcontentType); // 添付ファイルの追加Attachment MAP_site = newAttachment();
MAP_site.setFileName("SiteMap.png"); MAP_site.setLabel("Map_directions"); MAP_site.setFileContent(MAP
attachmentBinary); // 添付ファイル配列を設定します attachs[0] = QRblock; attachs[1] = MAP_site;
```